



## 天王寺動物園 「アフリカ・サバンナ草食動物／肉食動物ゾーン」

株式会社空間創研 佐々木宏二・名取重広・安田卓宏・奥川良介

### □はじめに

典型的な都市型動物園である天王寺動物園では、社会に求められる新しい動物園のあり方を確立するため、「生態的展示（ランドスケープ・イマージョン）」の考え方を軸としたリニューアルが進められてきました。本対象ゾーンは、キリン・シマウマ等8種の草食動物、ライオン・ハイエナ等5種の肉食動物を展示・飼育する施設です。

### □生息地の景観調査に基づくリアリティ

生態的展示は生息地環境 (habitat) の再現が本質であることから、本プロジェクトでは、わが国の動物園計画では初めてのケニア・タンザニア地域の景観調査を行いました。そして、セレンゲティ国立公園（タン

ザニア）やマサイ・マラ国立保護区（ケニア）等に展開する多様な景観を目の当たりにし、そこに適応して生息する動物との関係性をテーマと決め、リアリティのある生息環境づくりを行いました。

### □3つの展示テーマと、深い感動と自然環境への認識が得られる空間を目指して

展示テーマは「サバンナ景観の多様性」「動物、植物、地形・地質の関係性」「さまざまな生態的地位—動物の適応と多様性」の3つです。そして、あたかもサバンナに分け入り動物と遭遇したかのような空間を創出することで、観客が景観との一体感や臨場感を体感し、深い感動と自然環境への認識が得られる空間づくりを目指しました。また、要所に点在させた解説サインが、



「生態的関係性」への理解を高める、草食動物と肉食動物の通景



生息地の景観調査に基づく  
展示空間の写実的表現



至近距離でライオンと遭遇する  
ガラスビューでの驚き

作品概要

作品名：天王寺動物園「アフリカ・サバンナ草食動物／肉食動物ゾーン」  
 所在地：大阪市天王寺区茶臼山町天王寺動物園内  
 発注：大阪市都市整備局営繕部  
 設計：株式会社空間創研  
 設計協力：サバンナプロジェクト委員会(天王寺動物園)，株式会社大建設，有限会社 be Project  
 設計監修：大阪芸術大学芸術学部環境デザイン学科 若生謙二教授  
 監理：大阪市都市整備局営繕部工事課，株式会社空間創研  
 施工：モリタ建設株式会社，株式会社雄健建設，株式会社アトリエ・ティーエムバーガー  
 計画期間：平成8年4月～平成9年3月（草食動物／肉食動物ゾーン）  
 設計期間：平成9年10月～平成10年3月（草食動物ゾーン）  
 平成15年8月～平成16年3月（肉食動物ゾーン）  
 施工期間：平成10年9月～平成12年2月（草食動物ゾーン）  
 平成17年6月～平成18年8月（肉食動物ゾーン）  
 規模：9,370 m<sup>2</sup>（草食動物ゾーン）／3,500 m<sup>2</sup>（肉食動物ゾーン）  
 主要施設：キリン舎，草食動物舎，肉食動物舎，ビューシェルトー，便所棟，草食動物混合放飼場，フラミンゴ放飼場，シママンギース放飼場，ハイエナ放飼場，ライオン放飼場，サブパドック，モート，池，流れ，観覧デッキ，ほか

作品評

本作品は、1915年に開園した天王寺動物園を「Zoo21計画」のもとにリニューアルを行うものであり、これまでにない動物園の設計として注目された。  
 この天王寺動物園のリニューアルに当って、「生態的展示」や、「エンリッチメント」といった新しい動物の展示方法が取り入れられており、先駆性やオリジナリティ、情報発信性、インパクトが感じられ、高く評価された。  
 空間構成においては、さまざまなバリエーションを利用しながらそれらを観察者に見えないようにすることにより、ひとつの景観の中で草食動物と肉食動物が同時に観察できるようにしており、あたかもサバンナで実際に野生動物を観察しているように感じさせる空間を、限られた敷地の中に作り上げている点が秀逸である。  
 また、この作品の設計に当って、セレンゲティ国立公園やマサイ・マラ国立保護区など、実際のサバンナを訪れて景観調査を行っている点が、ランドスケープの設計プロセスとしても評価できる。  
 そのほかに、既存の樹木を保全し、それらをサバンナを再現する空間の中に違和感なく活用するなど、さまざまなアイデアや工夫が見事な景観を形成した優れた作品である。

人と自然の関わりを捉え直す契機となるよう配慮しています。

■ 景観デザインの手法

アフリカサバンナの特徴である草食動物と肉食動物が同時に見られる景観を、限られた敷地の中で創り出すため、コピエと呼ばれる岩山や水堀・空堀等を複合的に用い、既存木の活用や地形づくり等によって奥行きのある通景として構成しました。



展示演出の中に入念に組み込まれた、各種管理動線や施設群



先の見えない園路も期待を高める仕掛け



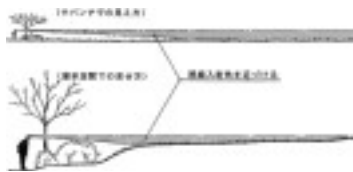
粗野なビューシェルトー



植物レプリカとサイン



「ランドスケープ・イメージョン」の概念より生み出された状況／サバンナの景観に浸る観客は、サバンナの風景と一体化する



視線入射角による奥行き演出



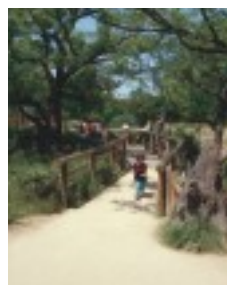
主役が美しく、尊厳に満ちた印象を感じさせるために、観客が動物を軽く見上げる景を演出



本物(シママンギース)とレプリカ(ナイロトオトカゲ)による複合型展示



枝葉を取り付けられるエンリッチメント器具とガイドポイントを展望テラスに併設



保存木を抜ける木橋



都会のオアシス